

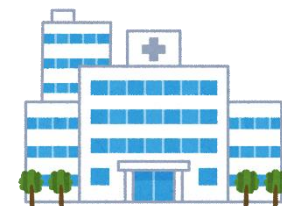
人生会議をしませんか？ ACPってなあに・・・？



ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院
患者サポートセンター 医療福祉相談
医療ソーシャルワーカー 疋田 麻衣子

JMA GROUP

©JMA GROUP



海老名総合病院について

神奈川県県央地域における

「地域密着高度急性期病院」



病床数：479床

(HCU 8、ICU 10、SCU 6、救命 30)

診療科目：25診療科

■2023年度実績

- 救急車の受入：10549件／年
- 新入院患者数：11,000人／年
：1,108人／月
- 平均在院日数：11.0日

『医療ソーシャルワーカー』をご存知ですか？



病気になると、身体のことばかりでなくさまざまな心配ごとが出てくる場合があります。

医療ソーシャルワーカーは、そうした心配ごとに皆様と一緒に取り組んでいく専門のスタッフです。



たとえばこんなときに…

- * 自宅での生活に不安なことがあるので受けられる**制度**、**サービス**について知りたい
- * 総合病院を退院後に利用できる**施設**や**病院**について知りたい
(**役割**、**費用**、**場所**など)
- * **社会的な制度**の利用について知りたい
- * 困っていることがあるが、どこに相談したらよいかわからない



私たちは次のようなお手伝いをします

- * 相談日時を決めた上で、ゆっくりお話をうかがいます（原則、相談は**予約制**です）
- * 相談内容に応じて継続してご相談をお受けします
- * 患者様、ご家族様のご希望を尊重しながら、担当の**医師**・**看護師**・**リハビリ等のスタッフ**と**連携**し、ご相談をお受けします
- * 必要に応じて、**適切な施設**・**機関**と連絡をとり、**情報提供**します



ACPとは？



Advance Care Planning
(前もって ケアの 計画を立てる)

- もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組み
- 「もしものとき」自分のことを自分で決められなくなったとき





「もしものときに、どうしたいか」は、 変わっていくことがある。

どのような生き方を望むかは、一人ひとり異なるもの。
また、ライフステージとともに変わっていくこともあります。



人生の最終段階において、あなたはどのように過ごし、どのような医療やケアを受けたいと思いますか？
あなたが大事にしたいこと、望む生き方について、考えたり、話してみたりすることは、
もしものときに、あなたの望みをかなえる第一歩となるはずです。

あなたが望む生き方を。

人生会議 アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 01

あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと共有しておくことも、アドバンス・ケア・プランニング(ACP、愛称：人生会議)といえます。

01

あなたが望む生き方を。

02

何度でも繰り返し考え、話し合おう

03

あなたが望む生き方を。

04

何度でも繰り返し考え、話し合おう

変わっていくこともあるけれど、何度でも繰り返し、見直すことができるから、
いま、あなたができることから始めてみませんか。

厚生労働省 人生会議

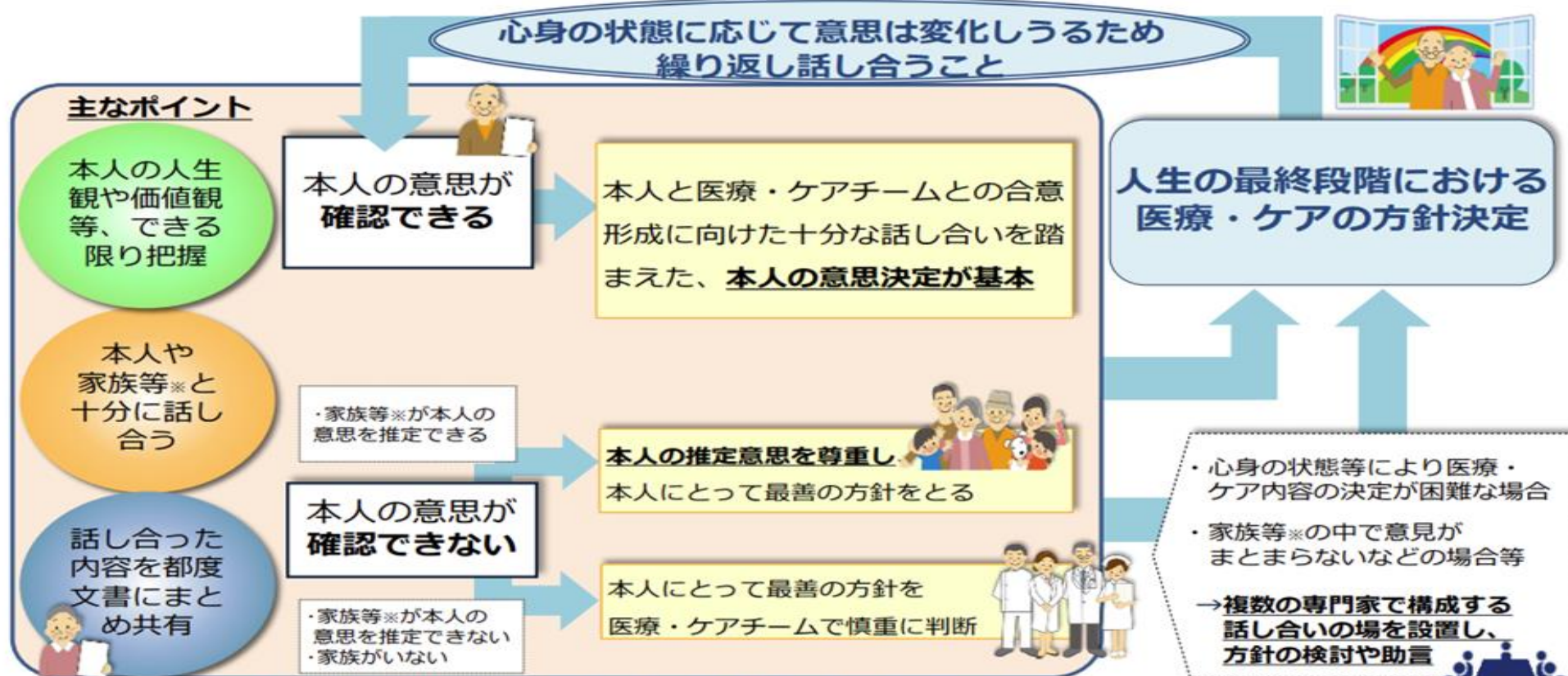


厚生労働省の啓発動画



「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 における意思決定支援や方針決定の流れ(イメージ図)(平成30年版)

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。



※本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、話し合いに先立ち特定の家族等を自らの意思を推定する者として前もって定めておくことが重要である。
※家族等には広い範囲の人(親しい友人等)を含み、複数人存在することも考えられる。



このガイドラインは、
人生の最終段階を迎えた本人・家族などと
医師をはじめとする医療・介護従事者が、
最善の医療ケアを作り上げるプロセスを示すガイドラインです。

診療報酬改定で、海老名総合病院もこのガイドラインを基本に、
ACPの実践をするように国から求められ、
現場では取れ入れるための検討が進んでいます。



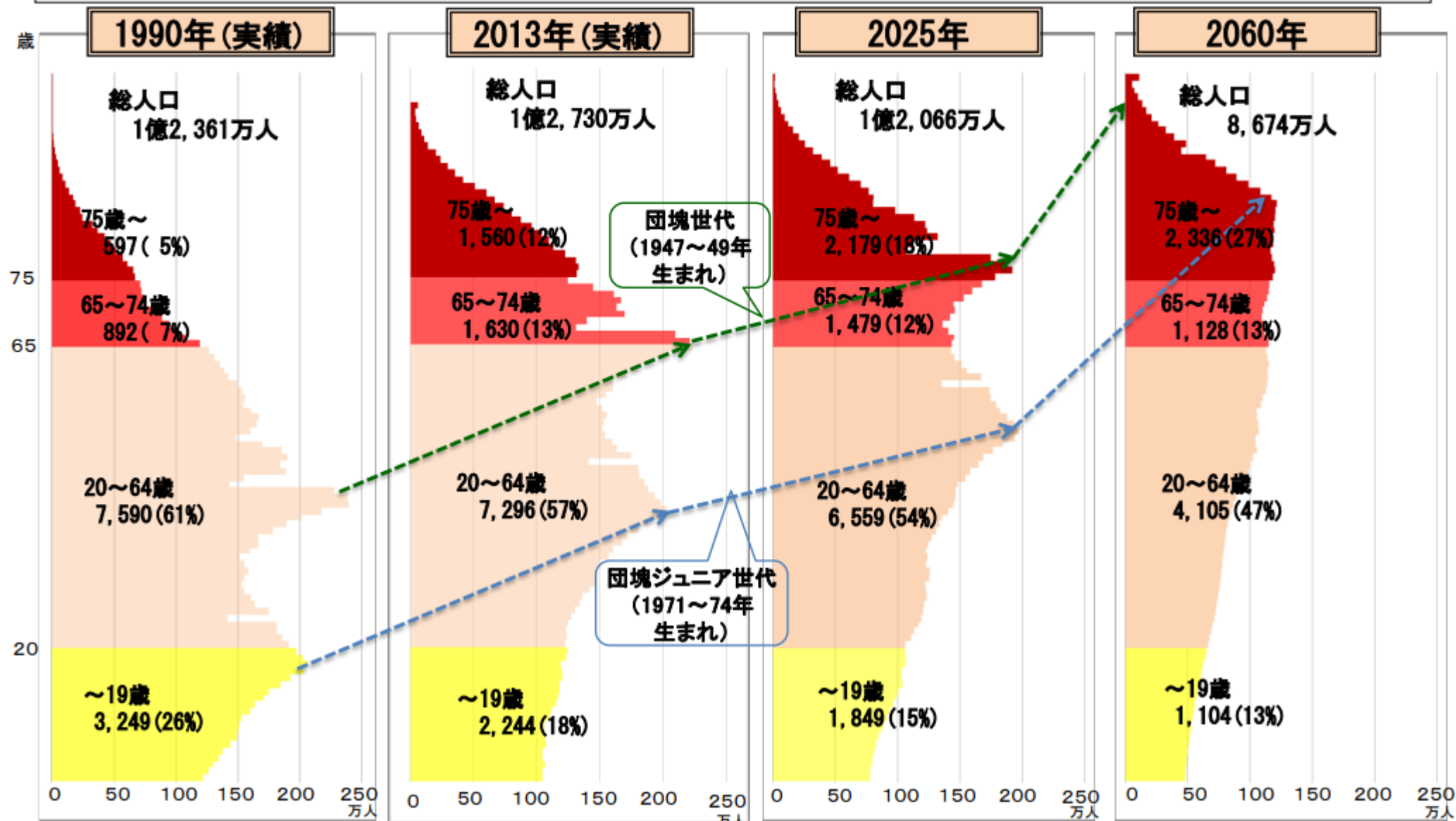
近年の超高齢社会＝多死社会の進行

それに伴う在宅や施設における療養や
看取りの受容の増大

地域包括ケアシステムの構築

日本の人口ピラミッドの変化

○団塊の世代が全て75歳となる2025年には、75歳以上が全人口の18%となる。
 ○2060年には、人口は8,674万人にまで減少するが、一方で、65歳以上は全人口の約40%となる。

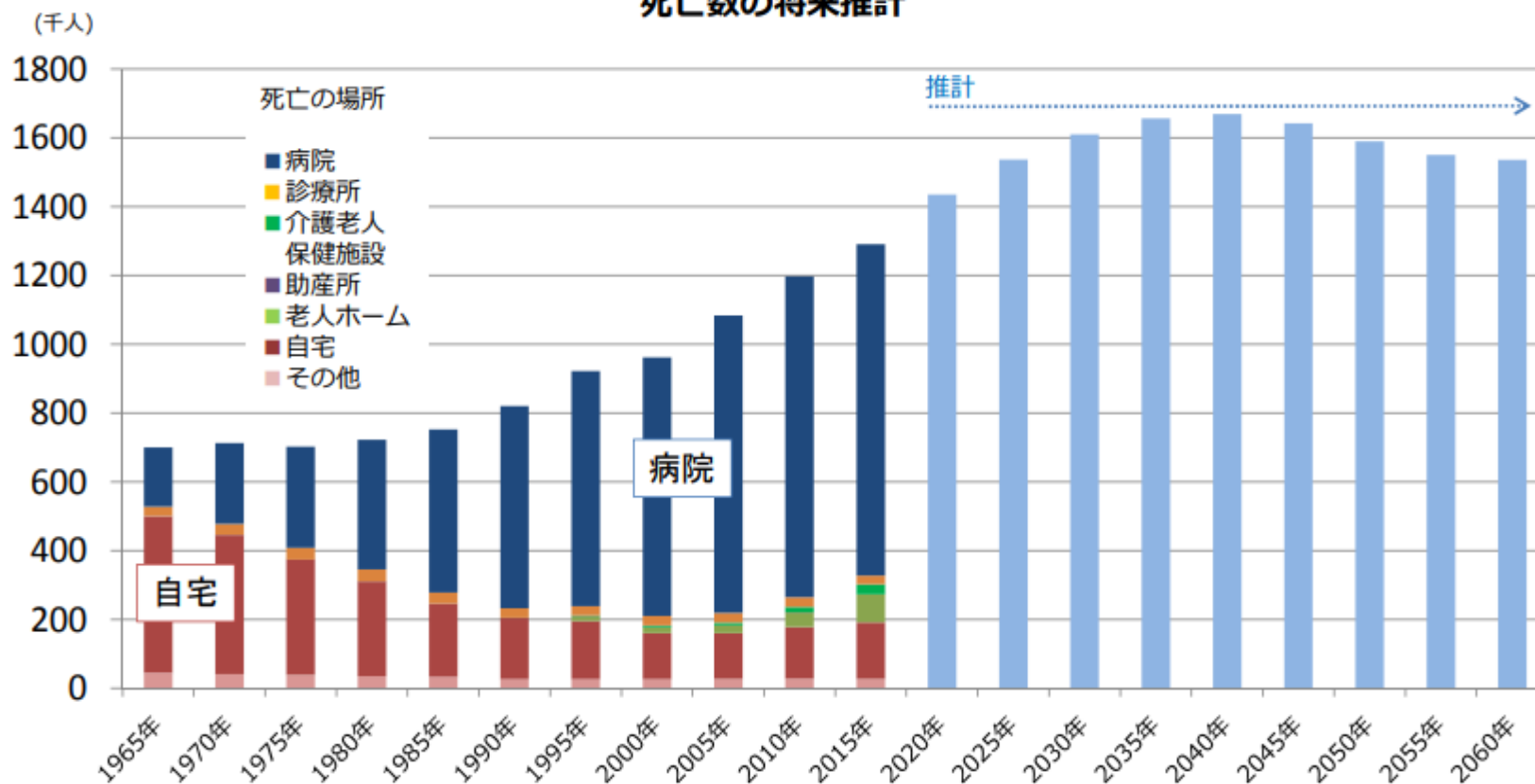


(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計): 出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)

死亡数の将来推計

- 年間の死亡数は今後も増加傾向を示すことが予想され、最も年間死亡数の多い2040年と現状（2015年）では約36万人/年増加すると推計されている。
- 近年、医療機関以外の場所における死亡が微増傾向にある。

死亡数の将来推計



※注：1990年までは、老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれる。

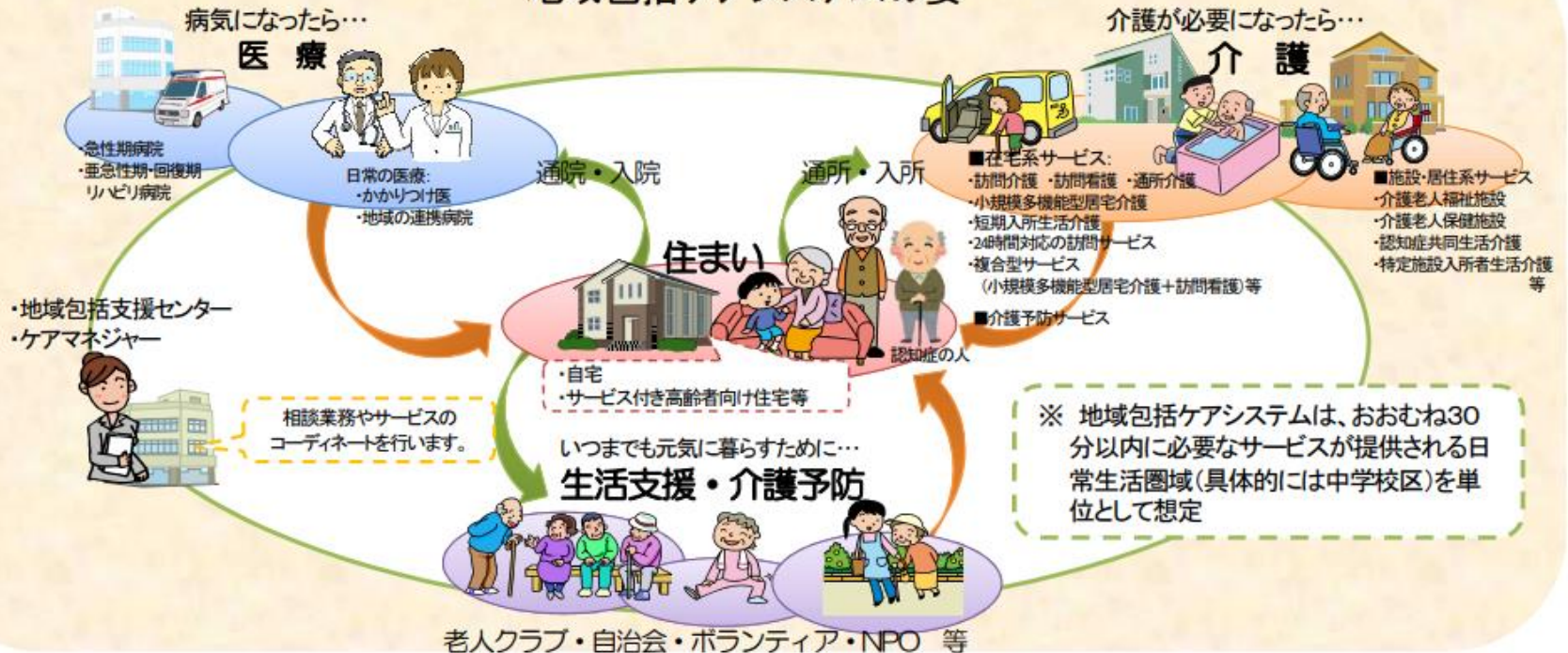
出典：2015年以前は厚生労働省「人口動態統計」による出生数及び死亡数（いずれも日本人）

2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
 - 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
 - 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿



老活
おいかつ

「今から終わりまで
老いの時代を生き活きと」

「将来の医療・ケアのプランを予め話し合うプロセス」

「人生の最終段階で/意思表示ができなくなる場合に備えて
予め話し合い(ACP)」も含む

「今から終わりまでの心積もり(ACP)」へ

終活(=死に備える活動)から
老活(=老いを生きるための活動)へ



老いの進み方：自立～介助の程度



健康寿命

老弱の最初期

老弱が進行

重度～最重度老弱

どこで、誰と暮らすか / 生きがいになること・楽しみとは / 気がかりなことは…

郊外の一戸建てで
妻と二人暮らし
近所に長男夫婦が住む

グループホームで楽しく暮らす
看取ってもらえるところを探す

長男夫婦が援助してくれると言っているが、同居するというのは互いに気づまりだ。グループホームで基本的な世話をしてもらい、ときどき息子たちが来てドライブに連れ出してくれるとか、食事を一緒にするといったことが一番快適なのだと予想。



健康寿命

老弱の最初期

老弱が進行

重度～最重度老弱

積極的な治療はどこまでやるか / 口から食べられなくなったら / 急変したら…

1~3(壮健)の間は、例えば声帯をとる手術あたりなら、嫌だけど、それなりに人生が延びるというのなら、やってもいいけど、5以降は、声がでなくなるというようなものはやりたくない。やらないと、後々辛い日々になるのを避けるという理由なら、仕方ないからやるかな。6以降は、治療中辛いというのも、もう我慢したくないね。

4から5になったら、それ以降は、快適に過ごすことが第一目標。
快適に保つケアをよろしくお願いします。
必要なら、座薬系鎮痛剤も問題ないし、鎮静も他に快適にする術がないならOK。
ただし、安易に鎮静を選ぶのはだめですよ。

6以降は、「口から食べられなくなったら終わり」が良い。基本的には、7以降は侵襲的な呼吸器は不要。ただ、私の人生や価値観を知ったうえで、やったほうが良いと医療ケアチームと家族が合意するならどうぞ。でも、見極めて、だめなら終わりにしてください。腎臓が少しずつ衰えているようなので、いずれ透析ということが選択肢になるかも。6以降は不要。

7以降は、もうオマケの人生も良いとこだから、急変時と言ったって、救急車なんぞ呼ばないでくれよ。もし、心配なら、かかりつけのD先生か、訪看さんに電話かけて、聞いてみると良い。心肺が止まった場合も、下手に蘇生なんかしないでね。急変したということは、天の采配だと思って、ありがたい、これで最期が楽になった、と思わなきゃね。



健康寿命

老弱の最初期

老弱が進行

重度~最重度老弱

①あなたの人生を振り返ってみましょう

- ・特に印象に残った「決定・選択」に
どんなものがありましたか？



②その時あなたはどんな風に
「決定・選択」しましたか？

- ・誰かに相談しましたか？
- ・何かに背中を押されましたか？
- ・決める事に悩んだとしたら、
それはどうしてですか？



③もしもその時、あなたの周りの全ての人が、あなたの「決定・選択」を無視して、反対の方向に強引に進めたとしたら、あなたはどんな気持ちになるでしょうか。



着るものを選ぶ



買い物をする



住む場所を変える



医療サービスを選ぶ



生活・人生は意思決定の連続です。

誰もが、何かを選んだり、迷って決められなかったり、
選ぶのに失敗したりを繰り返しながら生活しています。

時に、あなたにとって重要なことが、
私にとって重要ではないことがあります。



だれもが
「私の人生の主人公は私」なのです。



アドバンス・ケア・プランニングシート

あなたにとって大切なことは？

あなたの人生で大切にしたいことは何ですか？これから先、どのように暮らしていきたいですか？あなたの目標・希望・想いについて気持ちを整理してみましょう。

- 楽しみがあること
- 身の回りのことが自分でできること
- 先々に起こることを詳しく知ること
- 一日でも長く生きること
- 家族や大切な人との時間を大切にすること

あなたが受ける治療やケアの希望は？

あなたが病気になったり、大きなケガをした時のことについて、あらかじめ、あなたの希望や想いについての心づもりをしておくこと、もしもの時に安心です。あなたの目標・希望・想いについて整理してみましょう。

① もしも、病気になったり大きなケガをしたら？

- 一日でも長く生きられるような治療を受け続けたい
- 期間を決めて治療を受けて、それから考えたい
- ととにかく病気が治ることを目的とした治療を受けたい
- 死期が早まって、痛みや苦しみを和らげるための十分な処置や治療を受けたい
- できるだけ自然な形で最後を迎えられるように、必要最小限の治療を受けたい
- 延命は考えず、穏やかに過ごしたい

② もしも、介助が必要になった時は、どこで、どのように過ごしたいですか？

どこで？

- 病院
- 施設
- 自宅
- その他 ()
- わからない

どのように？

- 家族に協力してもらいたい
- 食事やトイレなど、最低限自分でできる生活がしたい
- ととにかく長生きしたい
- 家族に迷惑をかけたくない
- その他 ()

③ もしも、病状が進み、最期の時が近くなった時に過ごしたい場所はどこですか？

- 病院
- 施設
- 自宅
- その他 ()
- わからない

あなたの代わりに判断は誰にしてほしい？

あなた自身が判断したり希望を伝えることができなくなった時、あなたの代わりに医療やケアの判断をしてもらいたい人と考えておくことは大切です。代わりに判断は誰にしてほしいですか？

- 配偶者（夫・妻）
- 子ども（ ）
- 親戚（ ）
- 友人等（ ）
- 代理人（ ）
- その他（ ）

年 月 日 氏名



心積りノートを書いてみませんか？



ご清聴ありがとうございました

